

間（学級により多少の差はあるが5～10分間）程度とし「よくできた項には○印，よくできなかった項目には×印を記入させる。」

② 個人票作成の手順と生活指標の評価の例

めあてにむかってがんばろう									
3年5組 氏 名		よくできた日……○ よくできなかった日……×							
学校のめあて	学級のめあて	わたしのめあて	1	2	3	4	5	6	7
(生命を尊ぶ子ども)	車に気をつけ、道路の横断は左右をよく見て安全をたしかめてわたることができ	ろうかや、どうろの右がわを歩く。							
(健康な(明るく健康な子ども)	いつも手、足をきれいにしておくことができる。	外からきた時はうがいをする。							
(体力のある子ども)	元気に運動やあそびをすることができる。								

上記の表を全児童に示し学級のめやすをつかませ、各個人はこれをもとに自己をじっくり見つめさせ、実現可能な「自分のめあて」を設定させた。

ア. 3年A児の生活指標と自己評価の記録

めあてにむかってがんばろう							
3年〇組 ○○○○		よくできた日……○ よくできなかった日……×					
ぼく・わたしのめあて		1	2	3	4	5	6
健康	ろうかの右がわを正しく歩く	×	○	×	×	○	○
	外で元気にあそぶ	○	×	○	×	○	○
	地下室であそばない	×	×	○	○	○	○
考え	勉強のときむだ話をしない	○	○	○	○	×	×
	じゅぎょう中よそみをしてない	×	×	×	×	×	○
	先生や友だちのはなをよきく	○	○	○	○	○	○
思いやり	ともだちとなかよくする	○	○	○	○	○	○
	わるぐちをいわない	○	○	○	○	×	×
努力	小とりをだいににする	×	×	×	×	×	×
	しゅくだいをわすれない	×	×	×	×	×	○
	チャイムがなったらせきにつく	×	×	×	×	×	×
	きょうしつでしずかにする	○	○	○	○	○	○
奉仕	だまってそうじをやる	○	×	×	×	×	×
	自分のかかしのごとをよきやる	×	×	×	×	×	×
	ゴミをひろう	×	×	○	○	○	○

イ. 3年B児（女）の生活指標と自己評価の記録

健康	こうさてんでは左右を見てとおる	○	○	○	○	○	○
	天気の良い日は外で元気にあそぶ	○	○	×	○	×	○
	教室へ入るときはうがいをする	×	○	○	○	○	○

考え	先生の話をよきく	○	○	○	○	○	○
	むだ話をしない	○	○	○	○	○	○
思いやり	かん字や数字をきれいに書く	×	×	×	○	○	○
	友だちのいやがることをしない	○	○	○	○	○	○
努力	友だちのわる口をいわない	○	○	○	○	○	○
	よいしせいで勉強する	○	○	○	○	○	○
	だまってそうじをする	○	○	○	○	○	○

＜考察＞ 生活指標の設定と自己評価について
学級担任からの報告によると、3年A（男児）は各教科の学習成績はクラスの中の下に位置し応用力に乏しく、すべての行動がスローペースで運動能力もやや劣るということである。しかし、性格は円満でまじめな生活態度だという。この子の生活指標に対する自己評価はきびしく、毎日の反省時には、その日の生活をつぶさにふりかえり、じっくり自問自答するので、「○」「×」をつけるのに時間がかかるという。

3年B児の学習成績は上位で級中随一の女児である。生活指標設定の段階では、各項についてしげんに考え相当苦心したようである。B児の評価を概観すると「○」の数が多く「×」印は少ないが、A児や他の児童にくらべて、その意味はちがう。B児は学習意欲が旺盛で各教科等の学習でわからない点があると、泣きながらも最後まで究明しようという、きびしい態度だという。

以上のことから、各個人の生活指標の評価「○」「×」の意味は、各個人の評価内容や評価の観点のとらえ方、反省の深さによってちがってくる。

「×」の数より「○」の数が多くなることは望ましいことではあるが「×」印が多く、しかも連日続くのが好ましくないと決めつけるのも一考を要する。それぞれ個人差が極めて大きいことを見のがしてはならない。

ウ. 6年C児（男）の生活指標の自己評価の記録

ぼくのめあて		1	2	3	4	5	6
	マラソン3周(600m)	○	○	○	×	×	○
	ラジオ体操をする	×	×	×	×	×	×
	くりかえしドリルをやる	○	○	×	×	×	×
	むだ話をしない	B	C	A	B	C	C